

トヨタ、アリストを新発売

—— 新しい高級車のアイデンティティを主張する

ハイパフォーマンス 4 ドアセダン 誕生 ——

トヨタ自動車(株)は、新型乗用車アリスト(*)を10月31日より全国のトヨタオート店およびトヨタビスタ店を通じて一斉に発売する。

アリストは、「新しい高級車のアイデンティティ」を基本コンセプトにした、クルマのもつ **ダイナミクスー動的魅力** を存分に味わっていただけるハイパフォーマンス 4 ドアセダンである。

*アリスト (ARISTO) : 英語のARISTOー(アリスト) [接頭語] より、「最上の、優秀な」の意を込めて命名。

車両の具体的な特長は次の3点である。

1. 「心昂まる」、斬新で動感あふれるソリッドフォルム
2. 「走る楽しさ」を味わえる、力強くかつ滑らかな走行性能
3. 時代のテーマである「やさしさ」を追求した、居住性・安全・環境への配慮



アリスト 3.0V (JZS147-BEPVZ) 〈オプション装着車〉

【車両の特長】

1. 「心昂まる」、斬新で動感あふれるソリッドフォルム

新しい高級車のスタイルアイデンティティを主張する、「心昂まる」斬新なイメージをもたせている。

流麗で力強い面構成による躍動感と、ひとつの大きなかたまりから削り出したような質感をスタイル要素の大きな特長としている。

しかも、ウェッジ基調のサイドシルエットやフロントからリヤに滑らかにつながる大きなキャビンなど、優れた空力特性や高級車としてのゆとりあるパッケージングという高い機能性を有するスタイルとしている。

デザインの開発にあたっては、G. ジウジアーロ氏が主宰するイタルデザイン社のプロトモデルをベースにし、さらに発展させることにより洗練された4ドア高級乗用車として完成させている。

2. 「走る楽しさ」を味わえる、力強くかつ滑らかな走行性能

新しい高級車の走りのアイデンティティを実現するために、力強さと高級車ならではの重厚さ・滑らかさをあわせもつ「走る楽しさ」を存分に味わっていただける、新次元の走行性能を狙いとしている。

エンジンは、新開発のツーウェイ ツイン ターボを採用した3ℓ直列6気筒2JZ-GTE型（最高出力280PS/5,600rpm）と、高性能と低燃費を両立させるとともに高い静粛性を兼ね備える3ℓ直列6気筒2JZ-GE型（最高出力230PS/6,000rpm）の2機種を採用している。特に、2JZ-GTE型エンジンは、ツーウェイ ツイン ターボの採用により、排気量3ℓながら

1 クラス上の排気量のエンジンに匹敵する力強さと、自然吸気エンジンのように滑らかな加速性能を実現している。ツウウェイ ツイン ターボは、同一サイズの2つの新開発セラミックターボチャージャーを備え、低速では片方のみを作動させ低速トルクおよびレスポンスを大幅に向上させ、中高速域では2つとも作動させて高出力を発生させている。

サスペンションは、4輪ダブルウィッシュボーン式を採用。軽量・高剛性のボデーとの組み合わせで優れた操縦性、群を抜く直進安定性、快適な乗り心地を実現している。

また、ピエゾ素子を用いて路面条件に応じ、ショックアブソーバーの減衰力を電子制御するピエゾTEMSを採用している。「3.0V」に標準装備)

さらに、滑りやすい路面での制動時に車両の安定性と操舵性の確保に有効な4輪ABSを全車に標準設定し、滑りやすい路面での発進・加速・コーナリング時に駆動輪の空転を抑制し、車両の安定性を確保するTRC (トラクションコントロール) を標準またはオプション設定している。また、TRCを設定した車両には、ハイドロブレーキブースターを採用。これは、ブースター (倍力装置) の動力源として高圧の油圧を用いたもので、ブレーキの応答性、フィーリングの向上を図るとともに、その油圧を4輪ABS、TRCにも共用する油圧ユニット一体構成として、システム全体の軽量化も達成している。加えて、ギヤの歯面摩擦力で左右輪への駆動配分を自動的に制御し、駆動輪のスリップを防ぐ“トルセン” LSD (リミテッド・スリップ・デIFFERENTIAL) を採用している。「3.0V」にオプション設定)

この他、高性能タイヤを採用するとともに、優れた操舵フィーリングを実現する新PPS (プログレッシブ・パワー・ステアリング) を全車に標準装備している。

3. 時代のテーマである「やさしさ」を追求した、居住性・安全・環境への配慮

時代のテーマである「やさしさ」を追求し、優れた居住性と、安全・環境に配慮したクルマ造りとしている。

＜居住性＞

室内は、おおらかな面構成によるパノラミックで安心感を与える空間とする
とともに、スイッチなどの操作系部品は造形や配置を工夫することにより、
使い勝手に優れたものとしている。

また、エンジン・駆動系各部品の加工精度の向上、ドライブラインの直線
配置や、空気の流れを滑らかにした車体形状に加えて、車体前後の防振サブ
フレームの採用により、快適で静かな車室空間としている。

さらに、イグニッションキーを回すと指針および文字盤表示が鮮やかに
浮かび上がる視認性に優れたオプティロンメーター、換気機能付オート
エアピュリファイヤー（空気清浄器）、直径30cm大口径ウーハーを備えて臨場感
あふれるサウンドを味わえるアリスト・スーパーライブサウンドシステム、
新車の樹脂のにおいや たばこのにおい等に対してデオドラント（脱臭）効果の
あるシートファブリック（除く本革シート）など、充実した装備を標準設定
している。

＜安 全＞

安全への配慮は、**予防安全**、**衝突安全**の両面から徹底されている。

予防安全としては、走行時における自然な感覚の操縦性や快適な居住空間に
よるドライバーの負担・疲労の軽減に加え、次に代表される装備を採用して
いる。

▷ 4輪ABS〔全車に標準装備〕

▷ TRC（トラクションコントロール）〔3.0Vに標準、3.0Qにオプション設定〕

▷ “トルセン” LSD（リミテッド・スリップ・ディファレンシャル）

〔3.0Vにオプション設定〕

▷ LEDハイマウントストップランプ〔全車に標準装備〕

▷ 超音波雨滴除去装置付ドアミラー〔全車に標準装備〕

衝突安全としては、クラッシュャブルな車両前後部と変形しにくい強固な
キャビンというボデー構造に加え、次のような装備を採用している。

▷ 運転席用SRSエアバッグ〔3.0Vに標準、3.0Qにオプション設定〕

- ▷プリローダー付シートベルト〔運転席用SRSエアバッグとセット設定〕
- ▷サイドドアビーム〔全車に標準装備〕
- ▷リヤ席3点式シートベルト〔全車に標準装備〕
- ▷シートベルト非装着警告灯〔全車に標準装備〕
- ▷室内難燃化材料〔全車に採用〕

〈環 境〉

環境に配慮し、エアコンの冷媒に現行フロン（R12）に替わる新冷媒（R134a）を採用している。

また、リサイクル活動への取り組みとして、リサイクルしやすい熱可塑性樹脂で、硬度、剛性、成形性などの点で優れた特長を有する、世界初のトヨタスーパーオレフィンポリマーを開発し、大型樹脂部品のひとつである前後のバンパーに採用している。

この他、生産工程内で発生する端材等について、特定の樹脂部品にリサイクル活用するとともに、樹脂材質の識別に役立つ材質別の記号表示を引き続き実施している。

【販売概要】

1. 販 売 店 全国のトヨタオート店およびトヨタビスタ店
2. 月販目標台数 3,500台
3. 店頭発表会 11月16日(土)、17日(日)

【メーカー希望小売価格 (消費税は含まず)】

(応急用タイヤ、標準工具一式付、単位：千円)

グレード	エンジン	トランス ミッション	東 京	名 古 屋	大 阪
3.0V	2JZ-GTE	ECT-i	4,740	4,735	4,740
3.0Q	2JZ-GE	ECT-i	3,800	3,795	3,800

◎掲載写真
(除くオプション)

以 上